

# 市の将来を担う小中学生が まちづくりのアイデア発表

八幡平市小中学生会議・市内15校から代表者が参加



市のまちづくりについて田村市長に提言する参加者たち



他校の発表内容を自分たちの学校づくりに生かそうと、ノートに書き留める参加者たち

市や学校の夢と課題などを話し合う八幡平市小中学生会議は1月11日、西根地区市民センターで行われました。会議には、田村正彦市長、高橋北英教育長のほか、市内の小学校11校、中学校4校から代表者一人ずつ、15人が出席しました。

会議は「まちづくり」「学校」「行事」の3つのテーマに沿って進行。代表者は自己紹介をした後、各学校で話し合ってきた意見や提言をそれぞれ発表しました。

まちづくりでは「将来、市内で働きたいので、恵まれた自然を生かした観光振興を進めてほしい」という意見の一方、「美しい自然を残す取り組みも必要」と提言。「もったいない」という気持ちを大切に



八幡平市小中学生会議に出席した皆さん

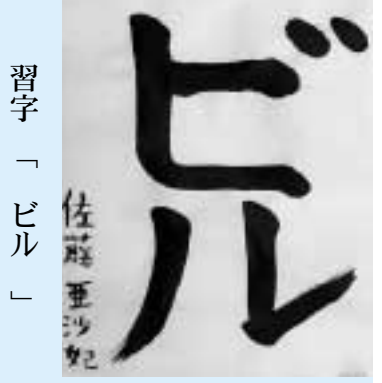
した、リサイクルのまちにしてほしい」と環境保全について意見が出されました。行事では「市内の学校の交流行事が少ないので増やしてほしい」「よりよい学校づくりのため、他の学校の取り組みについて発表してほしい」と学校代表者に提案するなど、意見交換が活発に行われました。

会議後は、市内で生産されたニジマスや鳥肉、ホウレンソウを食材に使った地産地消弁当を食べながら懇談。互いの地域の特産品を味わいながら交流を深めました。

## みんなの作品 ～柏台小～



3年 さとう あさひ 佐藤 亜沙妃さん



習字 「ビル」 佐藤亜沙妃



1年 やまもと りゅう 山本 竜くん



工作 「あさがおりーす」



5年 たかはし しゅん 高橋 峻くん



「初めて座ったぼくの弟」 工作



## ZOOM UP

「全国大会で上位を狙っている。負けられない大会だった」。西根中3年の新里尚子さんは、県中学校スキー大会アルペン回転競技を制し、全国への第一関門を突破した。「県内で同学年に負けたことはない。自信はあったが中学校生活最後の年というプレッシャーはあった」。大会前、練習の疲労から体調を崩す。左手が下がるという課題もあった。そんな不安を家族やコーチが和らげる。「いい緊張感を持って滑れた。自分一人じゃない」。ゴールした瞬間、感謝の気持ちがあふれる。「スキーに夢中になれるところが自分の強み。スキーとしっかり向き合い、目標を持って練習する生活は毎日が充実している」と彼女は研究熱心な頑張り屋だ。回転競技は旗門の距離が狭く、素早く正確なターンが求められる。「中学最後の全国大会はフルアタック。すべてを出し切り、目標は全国6位以内」。今の彼女に負気はない。

※全国中学校スキー大会は、2月6日から9日まで長野県で行われます。

## 新里 尚子さん

●にいさと・しょうこ 西根中学校3年生。今季初戦の県中学校スキー大会アルペン回転競技で優勝(1月13日)。昨年は、県中学校スキーアルペン競技会宮城杯回転優勝、全日本ジュニアスキー選手権スピード系種目中学生の部準優勝などの実績を持つ一流選手。好きな選手はトリノ五輪代表の星瑞枝さん。学校では報道委員長を務める。趣味はお菓子作りでチョコレートケーキが得意。プラス思考がモットーで、マイペースな性格と自己分析。両親と妹の4人家族。血液型O型。大更地区。

## 広報クイズ No.17 2月1日号の問題

## 生涯学習推進 大会で発表した ミュージカルの題名は？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。

◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限 2月16日(金) 消印有効

◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」

☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス 75-0469

☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp

\*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。

◎第16回の正解 「亥(い)、猪(いのしし)」 ◎応募者数 18人 ◎正解者数 18人

◎当選者 佐々木悦子さん(帷子)、田村賀津子さん(野駄)、阿部恵美子さん(荒屋新町)